

やる気のある就農希望者を受け入れ地域の活性化を目指す

(株式会社近藤農園)

<法人の概要>

所在地：香川県善通寺市

設 立：平成 20 年 1 月

資本金：300 万円 売上高：6,578 万円（平成 23 年）

構成員（議決権）：農業従事者 3 名（100%）

役 員：3 名（うち農作業従事 3 名）

従業員数：常時雇用者 10 名、臨時雇用者 0 名

経営面積：17ha（うち所有 3ha、借入 14ha） 基幹農作業受託面積：0ha

作付作物：米 6ha、野菜 20ha



(株)近藤農園全景



陽光を受け収穫を待つレタス

<営農を開始するまでの状況>

- 代々続いている野菜と米を栽培している農家。
- 大学を卒業後、2年間の米国での農業研修を経て実家で就農。
- 27歳の時に実家の経営を継承。海外経験を踏まえ、親とは異なる経営を開始。
- 新しい栽培品目の導入や経営面積の拡大を経て、平成20年に法人化。
- 平成22年には、大阪で就職していた長男が帰ってきて就農し、同時に経営の一部も継承。

＜特徴的な取組＞

- 経営が軌道に乗ってきた時に交通事故に遭い、「もう一度、農業ができるのなら、後継者を育てて就農を支援しよう。」と思い、平成6年から若手の育成に力を入れている。
- 東京や大阪で開催される新・農業人フェア等に参加して自社および香川県をアピールし、農業を志す方に短期・長期の農業研修を実施。農業技術だけではなく経営術等も指導するなど、独立に向けた指導を行っている。
- 行政や農協などの協力も受けて、毎年1～2名の新規就農者が巣立っており、これまでに11人が県内外で独立就農。
- 野菜栽培や米作りは化学農薬や化学肥料を減らして栽培を実践。

＜今後の農業経営の展開方向＞

後継者（長男）への経営移譲や、巣立っていく独立就農者への農地提供（のれん分け等）により、自分の経営規模は縮小。今後は、若手の育成と地域の活性化により一層力を入れたい。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

まずは法人化してください。経営の安定化のほか、農地の貸借などで信用が得られ、農地を借りやすくなります。



収穫物を抱え満面の笑顔の研修生



出荷に向けた調整作業